

くらし部会 【ヘルパー人材育成WG】			
令和5年度くらし部会 ヘルパー人材育成WG状況把握表			
	各関係機関の連携により、居宅介護等サービスの質・量の向上の取組みを行い、圏域における地域福祉サービスの安定と充実を目的とする。		
活動目標	○コンプライアンスを含めたサービス水準の向上 ○事業所間の相互援助体制の構築		
	取り組み計画(PLAN) 前期 ・WG長・副WG長の選任 ・新WGメンバーによる年間事業計画、目標設定、方向性の確認・協議 ・第1回スキルアップ研修会の実施 →研修参加者から出た意見や課題の整理 ・システムに関する協議、課題の抽出 →相談支援事業所を含めた協議 後期 ・第2回スキルアップ研修会の実施 →研修参加者から出た意見や課題の整理 次年度のWGの実施計画について検討		
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
第1 四半期	4月		
	5月	5/16 第1回WG ・WG長、副WG長の選任	・WG長・副WG長については、参加者が少なく、選任できず、事務局から直接依頼を試みたものの、業務多忙で引き受けが難しい為、事務局でWG長を担うこととなった。
	6月		
第2 四半期	7月	7/12 第2回WG ・今年度活動計画の確認	・WG長・副WG長の選任後、今年度の活動計画を確認する。 ・前回のWGで決めきれなかった為、計画遂行が予定より遅れている。
	8月		
	9月		
総 評 期	上半期 達成率 70%		・出席者が少なく、会議での研修等の決め事が難しいため、欠席者には電話等で確認を行った。
第3 四半期	10月	10/26 第3回WG ・第1回研修会を実施 ・次回研修会について	・対面での研修会を実施できた。しかし業務が多忙な為出席する人数に限られていた。 ・今回は虐待をテーマに研修会をすることになった。
	11月		
	12月		
第4 四半期	1月	1/25 第4回WG ・第2回研修会を実施	・ハイブリッドでの研修を実施。多くの方に参加いただき、高評価であった。 ・事前にアンケートを取って、質疑応答なども事前に確認しておく方がよかった。
	2月	2/6 第5回WG ・今年度の反省 ・来年度に向けて	・研修会は良かったが、複数事業所との契約でのヘルパ支援の検証については、WGの出席者も少なく、話し合いや検証が不十分な状況。 ・WGのメンバーが出席できないことが多く、欠席メンバーに意向を確認しながら進めたものの、どうしても計画遂行や決めていく過程に時間がかかりやすい。
	3月		
総 評 期	下半期 達成率 70%		研修会については、予定通り2回開催できたが、複数事業所との契約でのヘルパー支援の検証については、話し合いや検証が不十分な状況となった。
総 年 評 度	達成率 70%		業務の都合上、WGメンバーの出席が少なく、少人数での話し合いや、事務局中心で対応する場面が多くなっている。

くらし部会 【精神障がい地域包括ケアシステムWG】				
令和5年度くらし部会 精神障がい地域包括ケアシステムWG状況把握表				
	精神障がい者が地域の一人として安心して自分らしい暮らしができる医療・障害福祉、介護、社会参加、住まい、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す。			
活動目標	<p>多職種で構成されるWGメンバーにより、日常生活圏域における課題を整理して、本会議に地域ケアシステム構築に向けての提言を行う。</p> <p>1. 昨年度から検討を重ねてきた、賃貸業者へのアンケート調査を実施し、結果をまとめる。 2. 個別事例の対応を検討することで、地域移行後の地域定着支援に必要な対応や内容を具体的に考える。 3. 個別事例の対応を検討することで、対象者だけでなくケースを取り巻く事業所や支援者の対応、支援方法についても検討していく。</p>			
	取り組み計画 (PLAN)			
	<p>【第1期四半期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度のWG長・副WG長の選任 本年度の活動計画について確認する。 <p>昨年度、抽出した7事例について検討を通して課題を整理する。 隔月ごとのWG会議で事例検討を行うが、その都度支援状況の変化があればWGメンバーで情報を共有する。 ・賃貸業者へのアンケート調査の実施に向けて、アンケート内容や実施時期の検討及び決定を行う。</p> <p>【第2期四半期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例検討 賃貸業者へのアンケート調査を実施する。 <p>【第3期四半期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例検討 賃貸業者へのアンケート調査結果をまとめ、課題等の整理を行う。 <p>【第4期四半期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例検討及び検討した課題や達成した支援方法を本会議に報告できるように整理する。 賃貸業者へのアンケート調査結果やWGで検討した内容について、本会議に報告できるように整理する。 来年度のWGの実施計画について検討する。 			
		実行実績 (DO)	評価 (CHECK)	改善 (ACTION)
第1四半期	4月			
	5月	5/16 第1回WG ・WG長、副WG長の選任 ・今年度活動計画の確認	・WG長・副WG長の選任ができた。 ・両市のモデルケース7例の経過を追いながら、多くの人に共通する課題を抽出することを確認した。	・計画的にWGを開催できるよう、年間の会議開催日を決定した。
	6月	6/20 第2回WG ・モデルケースの状況及び経過について ・賃貸住宅仲介業者へのアンケートについて	・モデルケースの経過の情報共有を行い、共通する課題を抽出し、必要な対応を考えた。 ・アンケート内容、調査対象者等の検討を行った。	・アンケートの実施について、三重県宅地建物取引業協会 伊賀支部に協力をお願いし、8～9月に実施することに決定した。
第2四半期	7月			
	8月	8/22 第3回WG ・モデルケースの状況及び経過について ・賃貸住宅仲介業者へのアンケート中間報告について	・モデルケースの経過の情報共有を行い、共通する課題を抽出し、必要な対応を考えた。 ・アンケートの中間報告について、7事業者より回答があった。	・アンケートは9月までを期限としており、次回WGにて、結果のまとめと検証を行う。
	9月			
総評	上半期	達成率 100%	<ul style="list-style-type: none"> モデルケース7例を追いながら意見交換を行い各々の課題を抽出することが出来た。 賃貸住宅仲介業者へのアンケートを実施することができた。 	
第3四半期	10月	10/24 第4回WG ・モデルケースの状況及び経過について ・賃貸住宅仲介業者へのアンケート結果について	・モデルケースの経過の情報共有を行い、共通する課題を抽出し、必要な対応を考えた。 ・アンケートの結果について、9事業者より回答があり、内容の検証を行った。	・今回の回答数では母数が少ないことから、三重県宅地建物取引業協会 伊賀支部にアンケート結果を報告する際に、再度アンケートへの協力を依頼する。
	11月			
	12月			
第4四半期	1月	1/9 第5回WG ・モデルケースの状況及び経過について ・賃貸住宅仲介業者へのアンケート結果について	・モデルケースを継続して経過を追うケースと終了するケースに分け、さらに詳細な検討を行った。 ・アンケートの結果について、最終的に12事業者より回答を得た。緊急連絡先の確保、残置物の撤去等が課題。また、大家や事業者に対し啓発を進める必要がある。	・モデルケースでは、それぞれのケースでさらなる要因の整理・検討する。 ・アンケート結果を取りまとめ、今後どのように対応できるのか検討する。
	2月	2/6 第6回WG ・R5事業計画進捗状況について ・R6事業計画(案)について	・今年度の振り返りと次年度に向けた活動内容の確認を行った。	・モデルケースの検討及び賃貸住宅仲介業者へのアンケートにより、課題が出てきているため、どのように対応するか、来年度のWGで整理し、実際にモデルケースの地域移行支援を進める。
	3月			
総評	下半期	達成率 100%	事例検討及び賃貸業者へのアンケートの結果から、地域移行への課題の検証ができた。	
総年評度		達成率 100%	アンケートを実施し、結果を基に課題の検証ができた。	

就労部会【雇用啓発 WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ(雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場)の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	○福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
	取り組み計画 (PLAN)			
①	他機関主催イベントへの参画(障がい者就職面接会)(企業説明会)			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1四半期	4月			
	5月	5/11 WG会議 面接会、説明会の日程等について確認		
	6月			
第2四半期	7月			
	8月			
	9月			
総評 上半期	達成率 100%	面接会、企業説明会開催に向けた調整・確認	下半期の面接会、企業説明会開催に向けた調整・確認を行った。	
第3四半期	10月	10/6 障がい者就職面接会(24社) 会場:三重県伊賀庁舎 WG:会場設営、受付、ブース案内	面接会参加者 39人(採用決定者数13人) 地域別:伊賀市 20人、名張市 17人、奈良県2人 障がい種別:身体 18人、知的 8人、精神 13人	昨年度は新型コロナウイルスの影響で、集団面接会ではなく、分散型に縮小して開催をしたが、今年度は5類に変更されたこともあり、集団面接会の形式で開催。参加者は39人と昨年(32人)よりも増加し、採用決定者も13人で昨年(8人)より増加といった結果になりました。次年度も部会活動の一つとして主催者とともに継続して取り組みを進めます。
	11月			
	12月			
第4四半期	1月			
	2月	2/16 障がい者のための企業説明会 会場:三重県伊賀庁舎 WG:会場設営、ブース案内	(参加者数等実績) 説明会参加者 10人 地域別:伊賀市 4人、名張市6人 障がい種別:身体 3人、知的2人、精神5人	前回(令和3年度)は新型コロナウイルスの影響で、集団説明会ではなく、分散型に縮小して開催をしたが、今年度は5類に変更されたこともあり、集団説明会の形式で開催。参加者は10人と前回よりも9人減少した結果になりました。例年開催しても福祉施設等からの申込が少ないため、次回は周知方法や開催自体も見直す必要あり?。開催することとなれば、部会活動の一つとして主催者とともに取り組みを進めます。
	3月			
総評 下半期	達成率 100%	面接会・企業説明会に協力	面接会および企業説明会において、会場設営、受付、ブース案内等を行った。	
総年 評度	達成率 100%		伊賀公共職業安定所が主催する事業に、WGとして協力することができた。当日についての詳細な連絡・調整等がWG会議内でできなかったため、次年度はスケジュール管理に努める。	

就労部会【雇用啓発 WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ(雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場)の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	○福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
取り組み計画 (PLAN)				
② 企業訪問の実施(就労定着、雇用啓発の支援で実施)				
		実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
第1四半期	4月			
	5月	5/11 WG会議 今年度の事業計画について確認		
	6月	6/8 WG会議 訪問先企業について協議	過去に訪問した企業の再訪問も視野に入れながら、訪問企業数を1班2社程度に削減する方向で候補を選定した。	
第2四半期	7月	7/13 WG会議 訪問先企業の決定、訪問の詳細について協議	訪問先企業7社決定。確実に障がい者雇用の促進につながる訪問となるよう、1社あたりの時間をかけていく方向性もまとまった。	
	8月	8/10 WG会議 訪問の班分けおよび各班の訪問先の決定、聴き取り内容について協議 8/21 訪問先企業へ依頼文書発送 →順次日程調整	すべての企業に共通して聴く質問事項を設定すること、各機関からの提供資料がすべての企業に行き渡るよう事務局で一旦集約して各班に配布することを決定した。	班分けについて、昨年度と同じ班分けになったため、次年度以降は必要に応じて班分けを変更することも検討する。
	9月	企業訪問の実施(9月～10月)計7社	企業訪問カードにより、障がい者の職務内容、雇用ニーズ、雇用における課題等の聞き取りを行った。現場の見学については断られた企業もあったが、可能な範囲で具体的な業務の切り出しの提案をすることができた。	障がい者雇用助成制度を広く周知していくために、資料の一律配布は今後も続けていく方がよい。
総上半期	達成率 100%	企業訪問に向けた協議 企業訪問の実施	9月の訪問開始に向けて、対象企業、聴き取り内容等の調整・確認を行った。	
第3四半期	10月	企業訪問の実施(9月～10月)計7社		
	11月	11/9 WG会議 各班より訪問結果報告	企業訪問カードをもとに各班より訪問結果の報告を行い、それに対して意見を出し合った。	企業見学会についての協議に時間を要したため、報告のみに留まり、フィードバックの検討は次回へ持ち越しとなった。時間配分(もしくは年度当初の計画)に改善の余地あり。
	12月	12/7 WG会議 訪問企業へのフィードバック方法について協議	統一のフォームに各企業の課題を落とし込み、その結果をもとに課題を分析していくことが決定した。	
第4四半期	1月	1/17 WG会議 課題抽出フォームについて協議	課題抽出フォームに挙げる項目について協議。	
	2月	2/8 WG会議 課題の分析、フィードバックについて協議	令和5年度企業訪問のフィードバックとして、課題抽出結果の共有とお礼状の送付、また、来年度の事業として、今回明らかになった課題の解決につながる内容の企業向け研修を行う。	今後は、企業訪問後にお礼状を送ることを習慣化させていくべき。
	3月	3/7 WG会議(予定)		
総下半期	達成率 80%	企業訪問の実施 訪問結果の報告 企業へのフィードバック	企業訪問により、各企業の現状の聴き取り、障がい者雇用助成制度の周知を行った。訪問後は、聴き取り結果から課題を抽出し、そのとりまとめ結果を訪問企業へ共有した。	
総年評度	達成率 80%		企業訪問の目的等をあらためて確認すること、訪問後の課題整理やフィードバックについて、より計画的に時間をかけて取り組むことが必要。	

就労部会【雇用啓発 WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	就労ステージ(雇用の場・就労福祉サービス、地域活動参加の場等)の多様な環境を整え、積極的な社会参画ができる地域を構築していく			
活動目標	○福祉から就労に向けた計画的推進と障がい者の雇用促進に向けた啓発 ○雇用の場の開拓と啓発			
③	取り組み計画(PLAN)			
	企業見学会の開催企画(障がい者雇用に積極的な企業への訪問)			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1四半期	4月			
	5月	5/11 WG会議 今年度の事業計画について確認 企業見学会の方向性について協議		
	6月	6/8 WG会議 見学先企業および見学会概要について協議 ハローワークより候補企業へ打診	見学先候補として3社選定。また、見学会の目的や案内を送付する対象企業について協議した。	
第2四半期	7月	7/13 WG会議 見学先企業の決定	打診の結果をふまえて、見学先企業を決定。	
	8月	8/10 WG会議 企業見学会実施要綱について協議	企業見学会実施要綱の内容確定。	見学先企業との打合せに向けて、見学会の概要を固めることができた。
	9月	9/7 見学先企業との事前打合せ 雇用啓発WGメンバー2名で訪問 企業担当者4名出席	実施要綱をもとに企業見学会について説明し、了承をいただいた。見学受け入れ経験のある企業だったため、とても協力的で、スムーズに話を進めることができた。	受け入れ可能人数や見学の際の注意点など、見学先企業側の要望を事前に把握するため、事前打合せの場は重要である。
総評 上半期	達成率 100%	企業見学会概要について協議 見学先企業との打合せ	企業見学会開催に向けて、WG内での十分な協議や企業との打合せを行うことができた。	
第3四半期	10月	10/12 WG会議 事前打合せについて報告 企業への参加案内の詳細について協議	案内チラシに掲載する内容や参加申込方法等について協議した。1月の開催に向けた今後の具体的なスケジュールについて確認した。	
	11月	11/8 見学先企業へ依頼文書発送 対象企業へ参加案内発送(計40社) 11/9 WG会議 見学会当日の役割分担について協議	R3~R5訪問企業およびR4実施アンケート回答企業 計40社に案内を送付。 駐車場から受付までの動線を確認し、その中で人員配置を考えた。	見学先の人数制限の問題もあるが、可能であればもっと多くの企業へ案内を送付したほうがよい。
	12月	12/7 WG会議 再募集について協議 →企業担当者へ電話にて直接声かけ(計31社)	見学会申込が0件だったため、対応策を協議した。参加見込みのありそうな企業をあらためて選定し、電話にて直接声かけを行った。	企業への案内方法について、当初から申込が入るよう改善する必要がある。
第4四半期	1月	1/12 見学先企業との最終打合せ 雇用啓発WGメンバー4名で訪問 企業担当者4名出席 1/17 WG会議 当日の役割分担および参加者への事前案内について協議 1/25 企業見学会開催	参加人数が確定し、当日の受付の流れ等について実際の現場を見ながら最終調整を行った。 伊賀圏域内企業 7社10名参加	見学先企業への謝礼について、要検討。
	2月	見学会参加者へアンケート実施	回答者:5名 概ね好評。次回開催に向けて参考となる意見もいただいた。	
	3月			
総評 下半期	達成率 90%	企業見学会の案内送付 企業見学会開催	見学会当日は、滞りなく開催することができ、参加者にとっても有意義なものになったのではないと思う。 企業への案内方法については改善の余地がある。	
総年 評度	達成率 90%		WGとして初めての試みだったが、大きな問題もなく、開催まで進めることができた。	

就労部会【事業所連絡会WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。 			
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。 ・仕事の共同受注についての仕組みをつくる。 			
①	取り組み計画(PLAN)			
	①座談会(2回開催)			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1 四半期	4月	4/19事務局会議 毎月第3金曜日にWG開催。		
	5月	5/11WG 8月、11月の2回開催することを決定。 5/22事務局会議 参加したいと思うテーマが重要。	グループに分かれたディスカッション、交流、顔の見える関係づくりを目指す。	圏域の事業所へ向けて「就労部会」とは何か、WG活動内容を伝えるとともに、座談会の開催案内、WGへの参加促進を行う。
	6月	6/16WG 第1回開催日時(8/18午後3時半～5時)、リモート形式で決定。	グループごとにテーマを決めてもらうことで、砕けた話がしやすくなる。	対面型より参加しやすいリモート形式で実施。
第2 四半期	7月	7/21WG 選択テーマ5つを決定。対象は現場支援員。	参加募集のリマインド実施。その際、他の事業所支援員に聞いてみたいことをアンケートで募集。	参加者が心の準備をしやすいよう事前にテーマ、進行イメージなどを周知した。
	8月	8/18WG 座談会本番をイメージしたリモート会議。 当日のタイムスケジュール作成。 8/23第1回座談会	アンケートの結果、有意義であった、時間が足りなかったという意見が多かった。	記録様式を決めていなかったため、2回目は決まったフォームを事前に配布する。
	9月	9/15WG 第2回開催日時(11/22午後3時半～5時)、リモート形式で決定。		個人名をアルファベット表記にし、第1回目の記録を未参加を含む全事業所へ共有することで2回目の参加意識を
総 上半期 評価	達成率	100%	座談会の企画から実施に至るまで、計画的に進めることができ、多くの事業所に参加いただき好評を得ることができた。	
第3 四半期	10月	10/20WG 第2回の申込状況確認。	再募集及び電話による参加確認を実施。	「研修会」と「第2回座談会」の周知タイミングが近かったことから、発信方法を
	11月	11/17WG 第1回参加事業者が約半数。 11/22第2回座談会 参加者(事務局含む)39名	座談会中にロゴフォームでアンケート送付、ホットな感想を得た。	
	12月	12/15WG		
第4 四半期	1月	1/19WG		
	2月	2/16WG		
	3月			
下 半期 総 評価	達成率	100%	課題はあるものの、計画通り事業を実施できた。	
総 年度 評価	達成率	100%	当初の企画どおり年2回の座談会が実施でき、アンケートでも概ね好評な意見をいただけた。来年度は本年度の内容をさらにブラッシュアップして実施したい。	

就労部会【 事業所連絡会WG 】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。 			
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。 ・仕事の共同受注についての仕組みをつくる。 			
①	取り組み計画(PLAN)			
	②マルシェ(伊賀市開催、名張市開催)			
		実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)
第1 四半期	4月	4/19事務局会議 毎月第3金曜日にWG開催。		
	5月	5/11WG 伊賀市開催は障害者週間啓発のイベントとして11月or12月開催予定。 名張市開催は障がいまたは人権イベントとの抱き合わせを予定。時期未		
	6月	6/16WG 伊賀市開催予定日(12/4、12/5) 名張市は名張市デザイン会議で企画する映画上映日と同日開催予定。		
第2 四半期	7月	7/21WG		
	8月	8/18WG		
	9月	9/15WG		
総評 上半期	達成率 100%	開催日決定(伊賀市)		
第3 四半期	10月	10/20WG 伊賀市開催の参加事業所(伊賀市8、名張市2)決定。初日にセレモニー実施。	伊賀・名張全事業所へ確認した結果、昨年度参加事業所数より減(11→10)。	
	11月	11/17WG 名張市開催日時(R6.1.28、正午～4時) 名張市総合福祉センター 11/24伊賀市実行委員会 シニア向け注意事項確認	伊賀市開催場所に、WGで作成した事業所ガイドブックを置く専用机を設置する。	
	12月	12/4、12/5伊賀市開催。 購入者数558人 12/15WG 伊賀市実績報告。名張市詳細報告。	事業所連絡会WGとマルシェの関係性や、WG自体の認識がない参加事業所があった。	事業所連絡会WGの認知度が低いため、周知やPR方法について、来年度WGのあり方を協議する。
第4 四半期	1月	1/19WG 名張市開催の参加事業所(伊賀市4、名張市2)決定。 1/28名張市開催。購入者数211人		
	2月	2/16WG		
	3月			
総評 下半期	達成率 100%	課題はあるものの、計画通り事業を実施できた。		
総年 評度	達成率 100%	両市とも計画通りに開催でき、多くの方に購入いただくことができた。参加事業所、利用者からも好評で、次年度も参加希望が多かった。		

就労部会【事業所連絡会WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。 			
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。 ・仕事の共同受注についての仕組みをつくる。 			
①	取り組み計画(PLAN)			
	③研修(講義型1回、事例検討会1回)			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1 四半期	4月	4/19事務局会議 毎月第3金曜日にWG開催。		
	5月	5/11WG 10月研修会、R6.2月事例検討会を開催することを決定。		
	6月	6/16WG 10月研修会のテーマ、内容を協議。		
第2 四半期	7月	7/21WG 10月研修会講師、開催日時(10/27午後3時半～5時)、ハイブリッド形式で決	講師、テーマ選定に時間を要した。	
	8月	8/18WG 10月研修会講師に参加いただき、研修内容確認。	10月研修会にてR6.2事例検討会の事例を拾い上げる。	
	9月	9/15WG 当日の進行スケジュール確認。参加事業所募集、再周知等の日程確認。		
総 評 期	上半期	達成率 100%	10月研修会に向けた企画を計画的に実施した。	
第3 四半期	10月	10/20WG 申込状況確認。 10/27研修会 参加者(事務局含む)34名。	アンケートの結果、事前告知のテーマと講演内容が異なっていたことに対する疑問、意見をいただいた。	研修内容、講師との打合せ・詳細の事前確認の徹底が必要。 いただいた意見を踏まえ、次回の研修会をより良いものとする。
	11月	11/17WG 10月研修会の振り返り。 2月事例検討会開催日時(R6.2.27午後3時半～5時)、リモート形式で決定。		
	12月	12/15WG 事例検討会テーマを決定。	座談会で話し合いの時間が短い、後日意見を共有するなら発表時間は不要との意見があった。	各グループの発表時間を設けず、その分話し合いに時間を使う。後日共有。
第4 四半期	1月	1/19WG ファンリの進行、当日の注意点を確認。	リモートのため、ホワイトボードがなく状況が分かりづらい。	グループ毎の発言内容をリアルタイムに画面共有して可視化する。
	2月	2/16WG ワークシートの様式、時間配分等の確認。 2/27事例検討会	限られた時間の中で話し合いを行う必要がある。	ワークシートを項目別に分け、事前に事例から拾い出した情報を記載しておく。
	3月			
評 期	下半期	達成率 100%	課題はあるものの、計画通り事業を実施できた。	
総 評 度	達成率			

就労部会【事業所連絡会WG】				
令和5年度 部会WG状況把握表				
活動理念	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉と労働が連携し、障がいのある人の多様な働き方を実現する。 ・障がいのある人が活躍できる就労活動の実現に努め、ひとりひとりが豊かな暮らしを送ることを支援する。 			
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間コミュニケーションを図り、目に見えるネットワークをつくる。 ・仕事の共同受注についての仕組みをつくる。 			
①	取り組み計画(PLAN)			
	④ガイドブック ⑤事業所ML			
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	改善(ACTION)	
第1 四半期	4月	4/19事務局会議 毎月第3金曜日にWG開催。		
	5月	5/11WG ④両市事業所の原稿提出状況確認。 5/22事務局会議 ④来年度から事業化検討。	④7月末完成を目標に設定。 ④3年越しで改訂できておらず、今年度は必ず完成させる。 ・来年度以降の更新が課題	
	6月	6/16WG ④未提出 7事業所に対して各市対応予定。 ⑤使い方の共有。	④両市全事業所データが出揃うように電話で丁寧に説明・催促する。	
第2 四半期	7月	7/21WG ④全事業所提出済。今後各市それぞれ市HPへ掲載予定。双方のリンクも掲載		
	8月	8/18WG ④8/28までに両市HPへ掲載。	④検索キーワードを登録し、見つけやすくする。	
	9月	9/15WG ④今後の運用について協議。 ⑤WGメンバー事業所から発信は可能。	④掲載情報にバラつきがあり、今後改善が必要。 ・今後QRコード化を検討。 ⑤来年度は積極的に活用できるよう検	
総 評 上 半 期	達成率 100%	ガイドブックを更新、両市のHPへ掲載することができた。		
第3 四半期	10月	10/20WG ⑤利用の活性化について協議、次年度検討課題とする。		
	11月	11/17WG		
	12月	12/4、12/5 ④伊賀市マルシェ開催時に両市のガイドブックを配置、自由に持ち帰ってもらった。	④手にしてもらった人と会話が生まれたり、他の事業所を知ってもらえた。 ・渡しても無くすことが多い。	④次年度以降も継続して配布。 ・QRコード化により、冊子の印刷コストや手間が省け、利便性が向上するため、デザイン化を含め検討。
第4 四半期	1月	1/19WG	④どの事業所でも福祉人材が不足している。	④福祉人材確保につなげるツールとしての活用等、来年度検討する。
	2月	2/16WG		
	3月			
下 半 期 総 評	達成率 100%	課題はあるものの、計画通り事業を実施できた。		
総 年 評 度	達成率 100%	目標通りガイドブックの製作、公表ができた。来年度はML活用の活性化、ガイドブックの更新や活用方法など協議していく。		

相談部会 令和5年度 部会状況把握表			
活動理念	誰もが自分らしく暮らせる街をつくる。		
活動目標	事例や課題検討を通じて相談員のアセスメント力や相談支援スキルを向上させる。サービス提供事業所と顔の見える関係をつくる。		
取り組み計画(PLAN)			
①	事例や課題検討を通じて相談員のアセスメント力や相談支援スキルを向上させる。		
	実行実績(DO)	評価(CHECK)	
	改善(ACTION)		
第1四半期	4月		
	5月	・部会長と副部会長の選任 ・令和5年度計画について	・部会長と副部会長を選任することができた。 ・令和5年度計画について、開催頻度・実施内容等確認することができた。
	6月	・令和4年度各事業所別サービス利用者数等集計結果について検討	・集計結果から、65歳以上のサービス利用者が多い、GHの支援者不足、ヘルパー不足などの課題等を確認することができた。
第2四半期	7月	・「学校との連携を考える」をテーマに、事前に中学校教員から代表者が話を伺い、共有し、相談支援専門員として日々感じていること等を共有。	・児童からの移行時の課題等を共有できた。 ・教師視点の考え等を知ることができた。
	8月	・就労移行サポート会議の内容共有。 ・事例検討「日常に困ったはある。しかし支援に信用はない。まずは、理解と関係性づくりの真っ最中。」	・高校生の未就労および1年未満の離職率の増加、教師からSSWへの相談も増加していることなど、実態を知ることができた。 ・事例検討について、親子共に支援をしているケースについて状況確認や、個々の課題について考えることができた。
	9月	・事例検討『日常に困ったはある。しかし支援に信用はない。まずは、理解と関係性づくりの真っ最中。』	・一人の相談員が親子共に支援することについての課題や相談員が抱える不安等を考えることができた。
上半期総評	達成率		多職種と連携する際の情報共有や課題等について、事例や教師の話を書くことで確認することができた。
	100%		
第3四半期	10月	・第7期伊賀市障がい福祉計画・第3期伊賀市障がい児福祉計画策定のためのアンケート結果について検討する。	・強度行動障がい者の支援や多職種との連携時の課題等について確認できた。
	11月	・「多職種連携～実践報告～」	・医的ケア者の支援について、実践報告を通じて、本人の意思決定支援や多職種との連携等について考えることができた。
	12月	・事例検討会『毎日楽しい！一つずつ夢がかなった！早く彼氏と住みたい！』	・両者ともに支援を要するカップルの支援について考えることができた。
第4四半期	1月	・事例検討会『心のより所なくなった利用者と厳しい父親との生活』	・母が死去したことにより変化した父と本人の関係性や想いの変化等に視点を置きながら、両者がより良い関係を維持し、本人の自立した生活に向けてどのような関わりが必要か検討することができた。
	2月	・事例検討会『ケンカするほど仲が良い？ケンカ続きでも実家に居続けるのはなぜ？』	・同居家族全員が療育手帳を所持しており、それぞれに相談支援専門員がついているケースについて、相談支援専門員間の連携や、一人ひとりの自立した生活等について検討ができた。
	3月	・事例検討会『18歳になったが…今後の進路についての本人の思いと母の思い』	・児童と大人との間で悩む本人や家族の葛藤について検討することができた。
下半期総評			事例検討会を通じ、好事例の共有や課題の抽出を行った。相談員らが実際に集うことで、活発に意見を交わすことができた。また、事例検討等を通じ、日々の些細な悩みも共有できるなど、日常業務に向かう活力を得たとの意見もあった。関係者間の情報共有の重要性を確認し、相談支援専門員、事業所、市との連携体制の強化、構築していくことを確認できた。
	100%		